ゆめ抱き進め！れいるの行き先に！

鉄道研究部２年　小藥遼輔・中根琉成

〔目次〕

Chapter 1　概要（共同編集）p.1

Chapter 2　杜の都を目指した旅路［7/30］（by 中根）p.2-p.5

Chapter 3　そうだ、秩父に行こう［7/31］（by 小藥）p.6-p.7

Chapter 4　全国制覇に向けた３日間［8/1-8/3］（by 中根）p.8-p.9

Chapter 5　多忙の中の一休み［8/4-8/6］（by小藥）p.10

Chapter 6　山奥のアングロサクソン七王国［8/4-8/6］（by中根）　p.11

Chapter 7　中央道を駆ける［8/7］（by 小藥）p.12-p.13

Chapter 8　北アルプスの盟主［8/7-8/9］（by 中根）p.14-p.15

Chapter 9　紡いだ記憶は名古屋と雨と［8/9-8/10］（by 小藥）p.16-p.19

Chapter10　終章（共同編集）p.20

Chapter１．概要

行こう。考えている時間がもったいない。

本作は、鉄研と山岳部を兼部している私たち２人の、真夏の２週間の記憶です。

この旅路で出会ったさまざまな苦難苦闘であったりを記しました。

笑いあり、涙ありの激動の２週間となっています（？）ので、ご一読あれ。

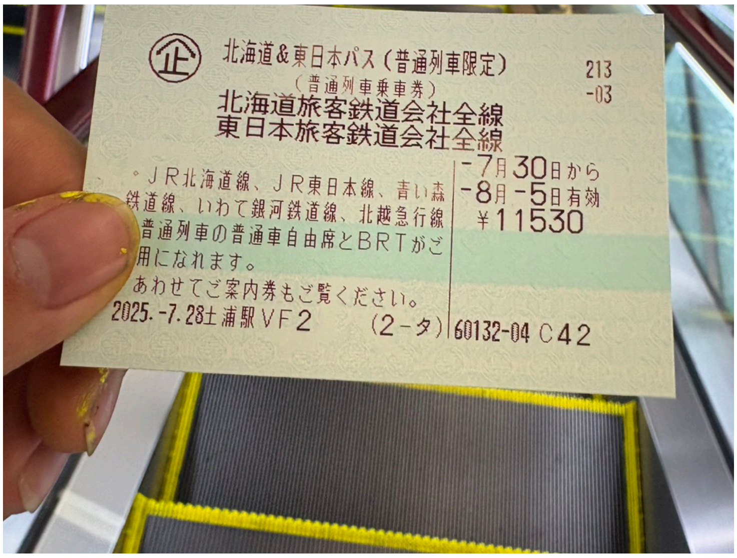
Chapter２．杜の都を目指した旅路

みなさんこんにちは。この夏の長い長い旅路のスタートを飾るのは、仙台市（東北大学OC）への旅路です。

この日は夏季課外４日目ということで、本来一高生は出勤…ではなく登校なわけですが、オープンキャンパスへの参加を名目に常磐線を北に下っています。この初日の出来事は、鉄路にこの話を書くことのきっかけでもあります。

それでは、私たちが過ごした真夏の衝撃の１日の体験をここに綴ってみます。

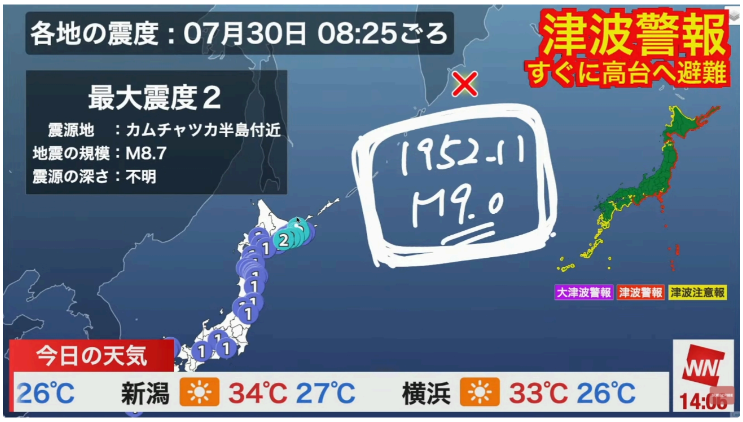
〔Part１（土浦駅ー いわき駅）〕


北海道＆東日本パス（普通列車限定）
（普通列車乗車券）
北海道旅客鉄道会社全線
東日本旅客鉄道会社全線
・ＪＲ北海道線、ＪＲ東日本線、青い森鉄道線、いわて銀河鉄道線、北越急行線普通列車の普通車自由席とＢＲＴがご用になれます。
あわせてご案内券もご覧ください。
2025.-7.28土浦駅ＶＦ２　（２－タ）
213
-03
-7月30日から
-8月-5日有効
￥11530
60132-04 C42

旅の始まりは土浦駅から。このChapter２の編集者は、石岡市民なので、ここから乗ったのは本作共同編集者の鉄研部長ですね。

石岡駅での合流後、列車は北に向かって走り、岩間駅や友部駅などを経由して、水戸駅まで進みました。途中の車窓から見えるイオンモール水戸内原を見て、「今日、仙台やめて内原行っちゃう？」なんて話をしました。

水戸駅では２年前に附属中の科学部として参加していた「ＩＢＡＲＡＫＩ・ドリーム・パス」を思い出したりとなかなか面白い地元の鉄道旅でした。そして、列車は勝田駅に到着し、私たちのロッキンへの気持ちを増大させた後、（現在のロッキンことROCK IN JAPAN FESTIVALは千葉県で開催されているが、かつてはひたちなかで開催されていた）県北随一のターミナルである、日立駅のホームへ入線しました。「昨年11月に山岳部で登山しに行ったぶりだね」なんて話しているうちに列車は動き出し、気づけば茨城県最北のまち、北茨城市に入っていました。「まもなく福島だね‼」と言っていると、なんと多くの乗客のスマホから一斉に音が車内に鳴り響いたのでした。スマホには「津波注意報」の文字が。よくよく調べてみると、どうやら隣国、ロシアのカムチャツカ半島で地震が発生したみたいでした。



当初私たちは、すぐに解除されるだろうと楽観的な考えでそのまま車内で過ごし続けました。しばらく、そのような状況が続きましたが、列車は勿来駅から福島県に突入し、植田駅、泉駅、湯本駅、内郷駅という市内の駅を経由し、いわき駅に到着しました。いわき駅では、先区間に長時間の乗車が控えていたので、NewDaysでパンを購入しました。当駅では、原ノ町行きの列車に乗り換えて、さらに北方を目指しました。（Part１完）

【写真説明】１枚目（上）：土浦駅出発時の切符写真

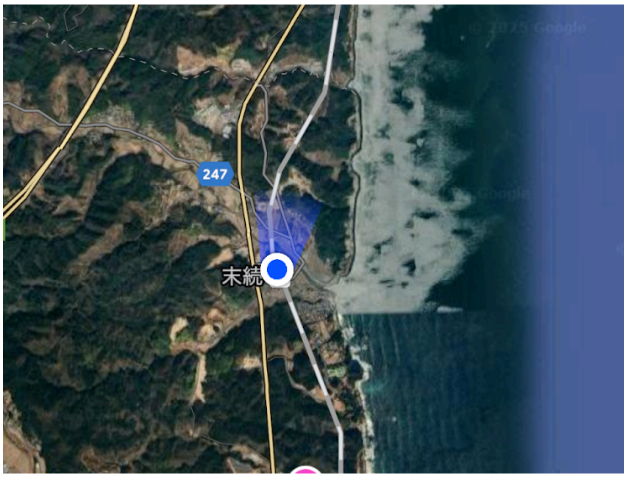
２枚目（下）：津波注意報発令の様子（ウェザーニュース 公式Youtubeより引用）

〔Part２（いわき駅ー末続駅）〕

いわき
Iwaki
赤井
Akai
内郷
Uchigō
草野
Kusano
JR

いわき駅を出発した列車は、しばらく順調に走りました。しかし、途中の末続駅に入線する途中に、再び大きな音がスマホから鳴り響きました。発令されていた津波注意報が津波警報に切り替わったようでした。そして、列車からもアナウンスが流れました。「末続駅で一時運転停止」と。末続駅は海からわずか100ｍしか離れていない駅で、車窓からも海がよく見えました。気のせいかもしれませんが、いつもよりも海が荒れているように感じました。

また、当駅で対向列車との待ち合わせをするという放送が流れました。私たちはJR東日本アプリの列車走行位置情報を見ていたので、その列車が茨城に戻れる最後の列車であることを知っていました。当時土浦にいた、同じく鉄研部員の社畜仲間も、その列車に乗車して帰ってきた方がよい！とメッセージを送ってくれていましたが、その内容を無視して先に進み、仙台を目指すことにしたのです…



反対側のホームに、前述の茨城に帰れる最後の列車が到着して、末続駅をゆっくりと離れていく列車を横目に見ながら私たちはE531系のボックス席で運転再開を待ち続けました。数分すると、再び車内アナウンスが流れました。どうやら末続駅よりも海から遠い竜田駅まで運転し、竜田で再度運転を見合わせるとのこと。私たちにとっては、北に進めるのであれば嬉しい限りでした。

（Part２完）

【写真説明】１枚目（上）：いわき駅の発車標

２枚目（下）：末続駅に停車しているときの地図

〔Part３（末続駅ー竜田駅）〕

列車が動き出し、広野、Ｊヴィレッジ、木戸を通って、楢葉町の竜田駅に到着です。当駅で運転見合わせをすることを理解していながらも、そのうち動くだろうという考えのもと、ひたすら列車内で待ちました。しかし、待てども待てども、列車は動きません。現在時刻は１０時。今すぐ回復すればギリギリ、オープンキャンパスに間に合うだろう、そんな時間でした。ただ一向に動く気配の無い列車と新幹線で向かった同級生たちのインスタの東北大到着報告ストーリーを見ながら、１秒１秒、車内で待つというある意味地獄の時間でした。

（Part３完）【写真説明】竜田駅の発車標

〔Part４（竜田駅で過ごした６時間ー前編）〕

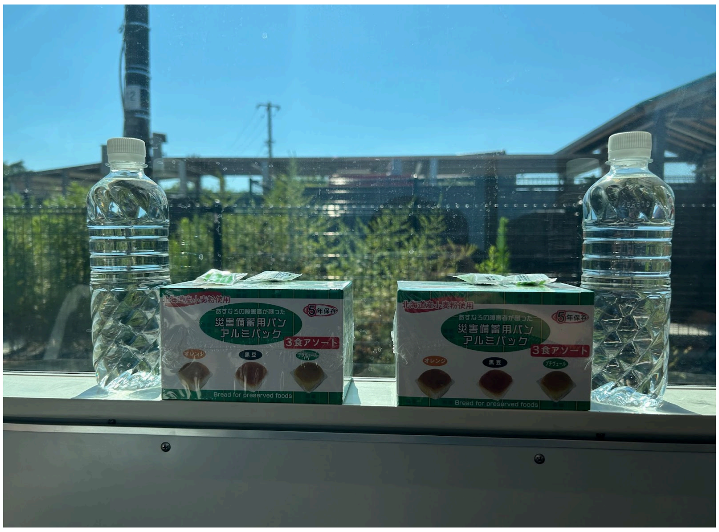
竜田駅に到着後はひたすら待ちました。たまにホームに出て気分転換をしながら待ちました。そこで流れた１時間！！永遠に列車が動かないのではないかと思えてきました。近くの乗客が改札を出て駅の外に探索しに行っているのを見た私たちは、少し躊躇した上ですが「外に行こう！！」と決意して改札を出ることに。改札には「運休」と大きく書かれていて、とても悲しい気持ちになりました。

竜田駅
Tatsuta Station
JR東日本

改札を出て、駅舎の写真を撮影していると、同じ列車に乗ってたであろう年配女性から声をかけられたのです。その人は青春１８きっぷで旅をしている人で、目的地も同じく仙台でした。話した時間は１１時３０分ごろで、お腹もすいてくる時間でした。「どれだけ待てば列車は出発するのだろうか」という会話から「竜田駅の近くにお昼ご飯が食べられる店があるのか」という話にまで発展していきました。駅前には定食系と海鮮系２種類の飲食店が立ち並んでいましたが、いずれも営業時間は午後２時まででした。話していた人は早いうちに昼ごはんを食べに行くと行って定食屋に行きました。一緒に行くことを誘われましたが、私たちは定食を食べているうちに列車が動き出して、竜田駅に置いて行かれてしまうことを恐れて、列車に戻ることにしたのです。現在、この文章を書いている身としては絶対に定食屋に行って昼ごはんを食べておくべきだったと後悔しています。（Part４完）【写真説明】楢葉駅の駅舎

〔Part５（竜田駅で過ごした６時間ー後編）〕

竜田駅に到着してから４時間が経過した１４時半。お腹がすいたので、Part１で書いていた、いわき駅で購入していたパンを食べてしまった頃でした。ＪＲの職員らしき方が段ボールを持って車内に現れたのです。そして、備蓄用パンと水、そして塩飴を提供してくれました。初めての経験だったので、受け取るときにはなんだかドキドキしていました。そうしてこの時間になると、既にオープンキャンパスには間に合いません。しかも翌日は模型コンテストの搬入。



どうやって、自宅へ帰宅するかも考え始めてきました。そんな話をしていると、車内アナウンスが流れました。内容は「本日中の運転再開が困難な状況のため、自治体の避難所に行ってください」というものでした。この放送を聞いたとき、私たちは非常に驚きました。まさか避難所に行くことになるとは思ってもいなかったからです。その後２人とも親と連絡を取り、帰宅手段が無いため仕方なく、楢葉町の避難所まで迎えに来てもらうことになりました。（Part５完）【写真説明】車内で提供された避難食

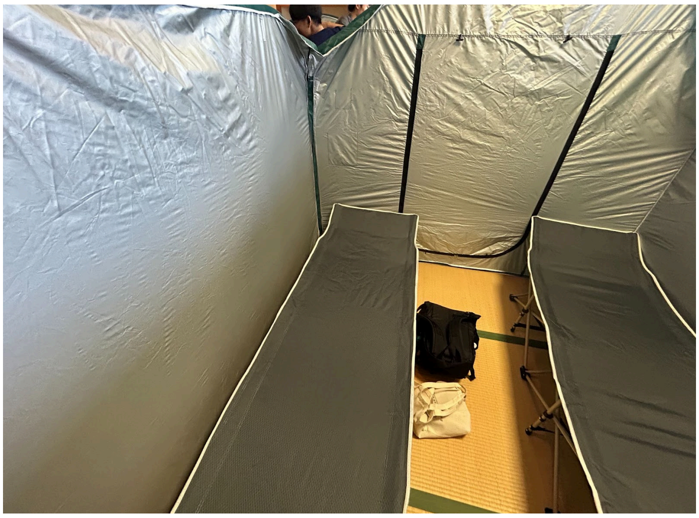
〔Part６（楢葉町の避難所で）〕

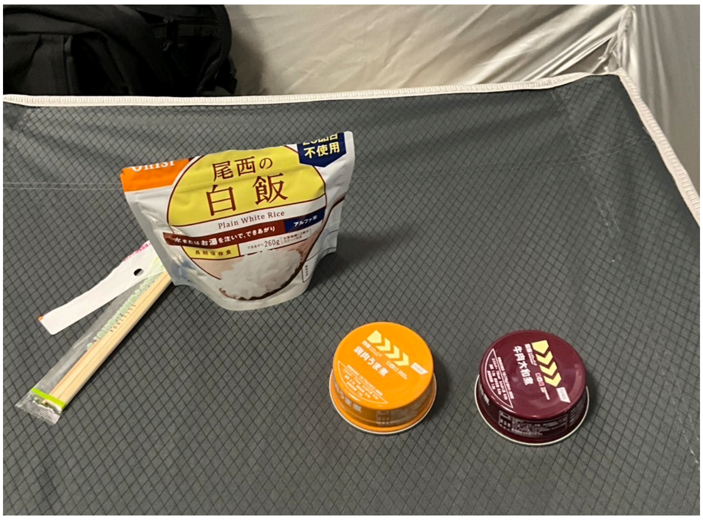
竜田駅
Tatsuta Station

放送が流れてからまた少し待ちました。なんと竜田駅には、楢葉町のバスが停車していたのです。そうして車内放送でも外のバスに移動するように指示が出されました。私たちも、他の乗客と一緒に改札前まで進み、役場の職員の人の説明を聞いた上でバスに乗車しました。バスは乗客全員を乗せた後楢葉町役場のある街の中心地に向かいました。

バスが到着した後、私たちが案内されたのは、町役場の隣の建物である楢葉町保健福祉会館という建物でした。

建物の中は、ニュースで見るようなガチの避難所でびっくりしました。簡易的な仕切りで区切られた、テントよりは広い空間に案内され、設置されていた簡易ベッドでゆっくりと休むことが出来ました。普段のキャンプで、テントと寝袋で寝ている山岳部にかかればこの程度なら余裕ですよ！！むしろ設備が良すぎるぐらいです！！





その後、近くにローソンがあることがわかったので歩いて行ってみることにしました。そこで緑のじゃがりこを仕入れWi-Fi環境も整っていたので持参していたiPadでゲーム…いえ勉強をやっていました。（嘘）

そして、避難所の方からアルファー米と缶詰をいただき食べました。（缶詰を２つ貰ったので１つは登山へ持参）

こんな感じで、実際に被災しているわけではないのに避難所に行くという貴重な体験をさせていただきました。

ご飯を食べ終わり、２０時半ごろ、双方の親が楢葉町に来てくれました。そして「また明日！」という言葉を交わしてこの楢葉町での非日常体験は幕を閉じたのでした。この場を借りて、楢葉町の皆さまに心より感謝を申し上げます。

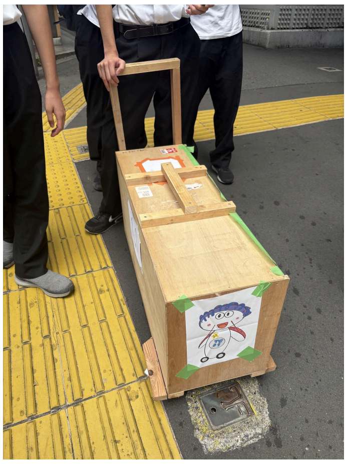
※この時に模型コンテストに出展した模型が楢葉町まで運ばれてきている。（詳細はChapter４で書くことにします）

（Part６完）

【写真説明】１枚目（上）：竜田駅からバスに乗車する様子　２-３枚目（下）：楢葉町の避難所での様子

（Chapter２完）

Chapter3.そうだ、秩父に行こう



7/31(Thu)

昨日の疲れもまだ癒えぬまま、東京に向かいます。僕たちが運ぶのは、取っ手と台車を付けた大きな箱。おまけに側面には、TEKKEN EXPO 公式キャラクター（笑）の「ゆめれいる」が貼られています。この中には僕たちが作り上げた作品が入っています。そう、この日は鉄道模型コンテストの搬入日だったのです。

常磐線に乗り新橋まで行きます。そして汐留まで徒歩で行き、大江戸線に乗ります。

ゆめれいるがビル街、地下通路を爆走していきます。

大きなトラブルもなく会場の新宿住友ビルに着きました。周りの学校の作品に圧倒されつつ、事前審査も難なく乗り越えました。時間を見るとまだ12時前。僕たちにはまだ時間が残されています。

「じゃあどこ行こう？」

そうだ、秩父に行こう。ということで、本日の目標は秩父鉄道と西武秩父線の完乗です。

僕たちは新宿駅を離れて、湘南新宿ラインに乗り込みます。最初に目指すのは久喜駅。そこで昼ご飯を食べました。

CR 01
はにゅう
羽生
羽生
하뉴
羽生
HANYU
埼玉県
羽生市
にしはにゅう
NISHI-HANYU
니시하뉴 西羽生 西羽生
Exit
출구 出口
出口

そして、東武伊勢崎線に乗り換え、秩父鉄道の始発駅である羽生駅を目指します。

約20分ほどで羽生駅に到着です。

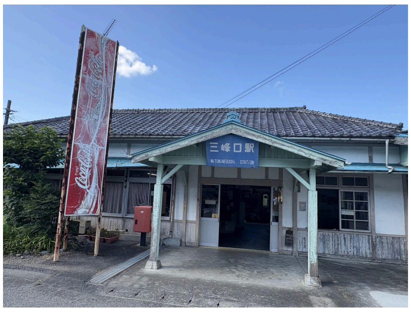
電車を降りて、秩父鉄道の改札に。せっかくなので切符を買いました。秩父鉄道の切符はすでにQRコード化されていて、窓口のQRコードリーダーに読ませるという方式のようで、だいぶ新鮮な体験でした。

電車は間もなく小前田駅に到着。「次はオマエダ」というまるでデスゲームみたいだとして、ネットでも有名な画像を取りたかったのですが、うまくいかず断念。

秩父鉄道の全線走破にかかる時間は約2時間です。

ずっと乗っていると、発車時、次駅到着時に鳴るメロディが頭から離れない！このメロディは、The steam of nostalgia という名前のようなので気になった人はぜひ聞いてみてほしいです。

三峰口駅はいかにもローカル線の終着駅という感じの木造駅舎の駅です。伝言板やレトロなコカ・コーラの看板など、とても情緒にあふれていました。



CR 37
みつみねぐち
三峰口
三峰口
미쓰미네구치
三峰口
MITSUMINEGUCHI
しろく
SHIROKU
白久 白久 시로쿠
埼玉県
秩父市

ようこそ秩父へ！
伝言板

折り返しの電車に乗り、御花畑駅まで向かいます。このかわいらしい名前の由来は祭の屋台が集まるところという意味のようで、生物で学習するあの「お花畑」とは関係がないそうです。

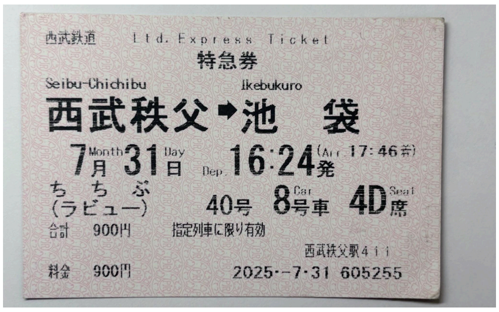
御花畑駅から歩いて10分前後で西武秩父駅に到着です。西武秩父駅は温泉もある非常に大きな駅ですが、乗りたい電車までの時間がほぼなかったので観光は断念。今度また訪れたいですね。

Ohanabatake Station
秩父鉄道 御花畑駅

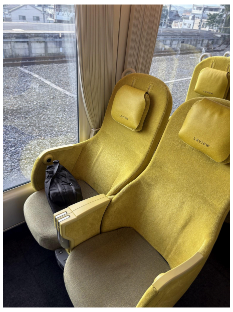
西武秩父駅から乗るのは、西武001系。いわゆるLaviewとして知られている特急車両です。大きな窓が特徴的で、座席も柔らかく、深く沈み込んでいるようでした。

あっという間に秩父線区間を駆け抜け、飯能駅。この駅では運転方向が逆になります。座席を回転し、西武池袋駅までのんびり快適な時間を過ごしました。

せいぶちちぶ
SI 36 西武秩父
Seibu-Chichibu
よこぜ
横瀬 Yokoze SI 35



西武鉄道 Ltd. Express Ticket
特急券
Seibu-Chichibu Ikebukuro
西武秩父➡池袋
7 Month 月 31 Day 日 Dep. 16:24発 (Arr. 17:46着)
ちちぶ（ラビュー） 40号 8 Car 号車 4D Seat 席
合計 900円 指定列車に限り有効
西武秩父駅4 1 1
料金 900円 2025-‐7・31 605255



西武池袋駅からはJRに乗って帰ります。昨日とは打って変わり平和な一日を過ごせてよかったです。

模型コンテスト３日間がんばるぞ！

Chapter４．全国制覇に向けた３日間

前日の搬入を終え、この日から全国制覇に向けた鉄道模型コンテストの３日間が始まりました。

本Chapterでは、短いながらこの**圧倒的で感動的な理想的超えて完璧な、運命的で冒険的な時に叙情的な３日間**を簡潔に紹介しましょう。

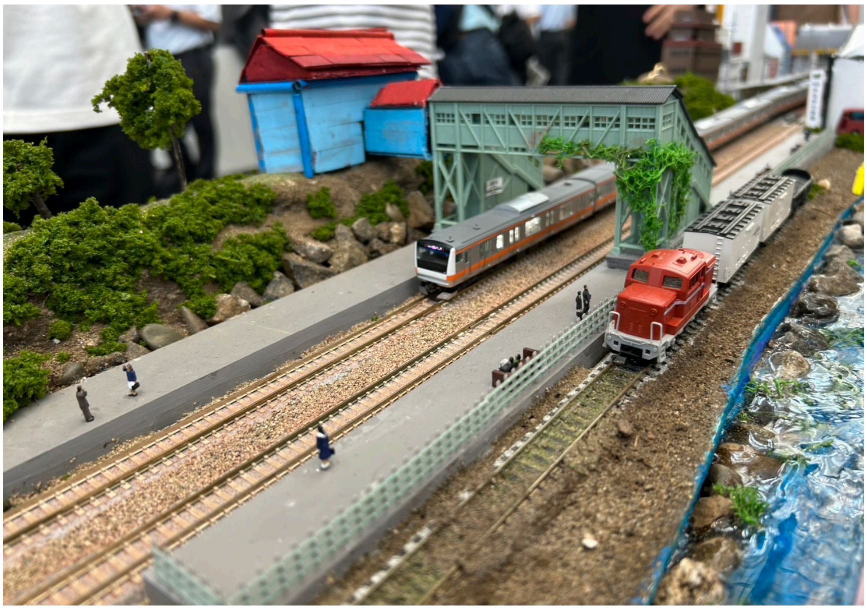
〔Part１（本校の作品紹介）〕

まずは模型コンテストでの出来事を書く前に、本校の作品を紹介しておきましょう！

【作品名】「誓い」ー根府川にて

本作は、「世界は『誓い』で動いてる」というスローガンのもと「自然」と「ストーリー」を追及しました。山から海までこだわって制作を進めたほか、中央に建つ駅舎も自作しました。７月に根府川駅での現地調査を実施したため、細部まで精密に制作することができました。

（Part１完）【写真紹介：制作した模型】



〔Part２（ぼくの名前はゆめれいる？）〕

私たちが例年出展している、この鉄道模型コンテストは国内外から180校を超える高校が参加する国内最大の大会です。

この大会では開催日３日間の中で１回、新宿住友ビルの三角広場のステージでプレゼンをすることが求められます。

今年度、本校は初日の昼にプレゼンをやることが決定しました。プレゼンターは鉄研部長と１年生の次期会計の２人。

そしてこのプレゼンで、どこで血迷ったかわかりませんが一高祭で企画した「Tekken Expo 2025」の公式キャラクター、**ゆめれいる**を登場させようという話になっていました。このプレゼン原稿は、Chapter３で書かれている通り、搬入後の秩父からの帰路で製作しました。

当日、ゆめれいるを担当して鉄研部長は舞台に上がりスクリーンに映し出されたゆめれいるの側で、会場にこの言葉を響かせました。

「ぼくの名前はゆめれいる！！」

その瞬間、三角広場にいたほとんどの人がステージに注目しました！（Part２完）【写真紹介】プレゼン中

土浦一高鉄道研究部の活動紹介
茨城県南部の土浦市にあります！

〔Part３（模型コンテストの休み時間）〕

本当は、プレゼンの様子を書き続けたいところではありますが、尺の都合から今回の部誌では省略させていただきます。プレゼンの様子は、鉄道模型コンテスト公式Youtubeチャンネルにライブ配信アーカイブとして動画が残っていますのでそちらを是非、ご視聴ください！！

（右のQRコードを読み取ると動画を視聴することが可能なはずです。）

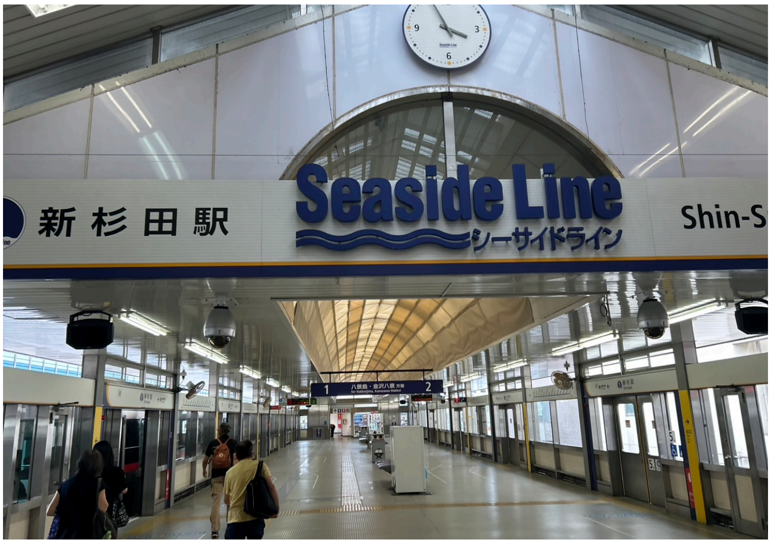
鉄道模型コンテスト開催中は、部員内でシフトを組んで、ブースで仕事をする時間と休み時間を設けていました。ブースでの仕事については、来場者に向けた模型の説明や他校との交流がメインで刺激的な時間でした。しかし鉄路にふさわしい特筆すべき点が見当たらなかったので、今回は特に休み時間に注目して書き進めていきます。

○横浜シーサイドライン

私は休み時間に、ポケモンの夏のスタンプラリーに取り組んでいました。そのため基本的にJRばかりに乗車していたのですが、シーサイドラインだけは、乗りたくて乗りに行ったので写真を貼りました。

乗車中は横浜の工業団地エリアを車窓から見ながら楽しく過ごすことができました。

（Part３完）



【写真紹介】シーサイドライン新杉田駅

〔Part４（大会の結果はいかに…？）〕

こんな感じであっという間に３日間は過ぎ去り、大会の閉会式へ。ここでは表彰式も実施されました。

最優秀作品は… **白梅学園清修中高一貫校鉄道模型デザイン班**！！

（白梅さん、２連覇おめでとうございます！！）

ということで、残念ながら私たちの全国制覇という夢は叶いませんでした… が良い経験になりましたね。

ちなみに本校の鉄道研究部の作品は…

昨年と同じく**奨励賞**を受賞しています！！（めでたいですね！）

80回生の部員の皆さんへ！！

来年度は最優秀賞取れるように頑張ってください！！ （Part４完）

モジュール部門
最優秀賞
11
白梅学園清修中学校・清修中高一貫部
鉄道模型デザイン班

【写真紹介】結果発表の様子

（Chapter４完）

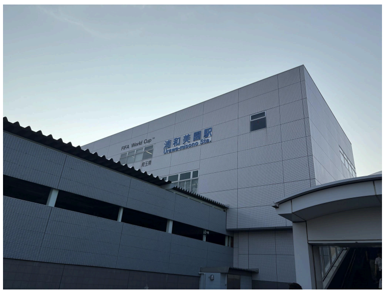
Chapter5.多忙な中での一休み

8/4(月)

模型コンテストが無事に終了し、体も心も疲労度はマックスです。 ですが今日は学校で企画された東大研究室訪問の日。重い腰を上げて再び常磐線に乗ります。

最初の目的地は、東京大学駒場キャンパス。さて、どの路線を使っていこうか。鉄研部員として、他の人とは違うルートで行ってみたいな….。あれこれ考えた結果、東京で中央線に乗り込み、新宿駅に向かいました。新宿駅からは、小田急線に乗り換え、東北沢駅で降ります。閑静な街並みを歩くのはとても気持ちが良かったです。15分くらいでキャンパスに到着。キャンパス内の先端科学技術研究センターでの講義を終え、午後に向けて本郷キャンパスへ向かいます。

駒場キャンパスの最寄り駅である、京王井の頭線駒場東大前駅に向かい、渋谷駅まで電車に乗り、地下鉄に乗り換えます。そして、本郷キャンパスの最寄り駅である東大前駅に到着。先ほどの駒場東大前駅といい、駅名にまで採用されてしまう東大のブランド力に驚かされます。本郷キャンパスでは比較社会学の講義を受けました。



学食で少し遅めの昼ごはんを食べ、本郷キャンパスを16時過ぎに出発です。 このあと目指すのは、浦和美園駅。埼玉高速鉄道スタジアム線の完乗を目指します。 埼玉高速鉄道は2001年に開業した、赤羽岩淵から浦和美園までの14.6kmを結ぶ、比較的新しい鉄道路線です。東京メトロ南北線と直通運転を行なっているので、東大前駅から浦和美園駅は一本で行くことができます。 大部分は地下を走るので沿線の景色を楽しむことは出来ませんでしたが、乗ったことがない路線に乗るというのは非常にワクワクしますね。しばらく乗り続け、地上に出たと思ったら、すぐに終点の浦和美園駅です。 埼玉スタジアム2002の最寄り駅ということもあり、とても広々とした駅でした。

その後、少し時間があったので、浦和美園駅の近くのイオンモールで時間を過ごしました。 帰りは、東川口駅までスタジアム線に乗り、JR武蔵野線経由で、土浦駅まで帰ってきました。

8/5(火)

気づいたらこの日も常磐線に乗り込んでいました。6日連続ですね。この日は毎年恒例のイベントを見に行くのでワクワクしています。 品川駅で山手線に乗り換え、恵比寿駅まで向かいます。そして、恵比寿駅から東京メトロ日比谷線で六本木駅まで向かいます。

そこが本日のゴールです。そう、テレビ朝日。僕の推しであるドラえもんを見に、テレビ朝日で開催されている、「六本木ヒルズSUMMER FES 2025」に行ってきました。「ドラえもん広場」にはたくさんのドラえもんのオブジェがあり、テレビ朝日本社内には、ドラえもんの誕生日を祝うエリアなどもあって、すごく幸せな空間でした。近くの毛利庭園に寄ったり、六本木ヒルズで昼食を食べたりと、推しに癒されて楽しい一日でした。

ようこそ! tv asahi!

Chapter６．山奥のアングロサクソン七王国

皆さんは福島県にある、通称「パスポートのいらない英国」と呼ばれる施設を知っていますか？

土浦一高附属中生、また同高校の内進生にとっては思い出深い場所かもしれません。私も中２の時に実際に英語研修で行って、楽しかった思い出が蘇ります。そんな思い出深い場所に行ってきましたので文章として綴ります。

〔Part１（土浦駅ー新白河駅）〕

今回の目的地はそう、福島県天栄村にあります「Brithish Hills」です。ここは英国風の街が完全に再現されています。

※Chapterタイトルにも入れた「アングロサクソン七王国」は、現在の英国があるブリテン島に中世に建国された七つの王国のことです。のちに統一されてイングランド（英連合王国を構成する中心国家）になるらしいです。

同行しているラムネちゃん（鉄研部員）調べによると、どうやら新白河駅から要予約で送迎バスがあるらしいです。

このことを知った私たちは、とりあえず常磐線、水戸線と、東北本線を経由して、新白河駅まで向かいました。

途中、宇都宮駅では餃子像を見に行ったり、豊原駅停車時は旧ソビエト連邦が占領した樺太の豊原市について調べたり、いろいろ楽しい移動時間になりました。

そして、新白河駅では駅前の老舗店で白河らーめんを食べ、元気いっぱいなまま送迎バスで山奥の英語村へ向かいます。

（Part１完）【写真紹介】新白河駅で食べた白河らーめん

〔Part２（懐かしのBrithish Hills）〕

Brithish Hillsに到着後、象徴とも言える「マナーハウス」を見て、とても中２のころを懐かしく思いました。

まずは、あの頃に行けなかったところに行こう！と言って、奥地の展望台に行くことに。荒れた傾斜のある道を進んで、到着した展望台から見えたのは美しい景色…ではなく一面の荒れ果てた森林でした。せっかく歩いてきたのに……と少し残念な感じでしたが、気持ちを切り替えお土産屋さんへ。

何を買ったかよくは覚えていませんが、何かしら買ったのは事実です。（多分ゴーフレッドとクッキーを買いました。

そして、思い出のフォルスタッフパブで**Iced Chocolate**を飲みました。（美味しかったです）

British Hillisでの滞在時間約２時間のこの旅、もう帰宅の時間になってしまいました。帰りは水郡線全線耐久です！！

（Part２完）【写真紹介】Brithish Hills　※尺の都合で最後の締りが悪いですね。ごめんなさい…　（Chapter６完）

Chapter7.中央道を駆ける

さて、個人旅を終えて模型コンテストの疲れを癒せたであろう、8月7日木曜日。

午前5時、土浦駅に約20キロのザックを背負った人がたくさん集合しました。この集団はそう、土浦第一高等学校山岳部です。今日から3日間で、奥穂高岳登頂を目指します。

奥穂高岳の簡単な説明をします。

奥穂高岳は北アルプス南部、長野県と岐阜県にまたがる穂高連峰の中で一番高い、3190mの山で、富士山、北岳に次いで日本で３番目に標高が高い山です。

土浦駅からは、常磐線に乗り、日暮里まで向かいます。そして、山手線で新宿駅まで向かいます。模型コンテスト会場へ向かうのに毎日降りていた日々をはるか昔に感じます。

鉄研部員としては、中央本線の特急「あずさ」に乗って松本まで向かいたい気持ちはやまやまですが、改札を出て、バスタ新宿へと向かいます。バスタ新宿というのは、2016年に新宿駅周辺の高速バス乗り場を統合するために設けられた巨大なバスターミナルで、日本各地と東京を結んでいます。

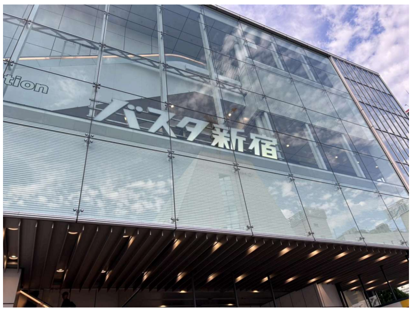
顧問の先生方と合流し、バスの出発時刻を待ちます。僕たちが乗るのは、アルピコ交通の「さわやか信州号」。

バスタ新宿と、南アルプスの玄関口でもあり有名な観光地でもある上高地を結びます。

バスは4列シートで、トイレもついているザ・高速バスといった仕様。

バスはもちろん満席で、自分たち含めて、ほとんどが登山用のザックを持っている人たちでした。

そして7時15分、バスはバスタ新宿を出発しました。

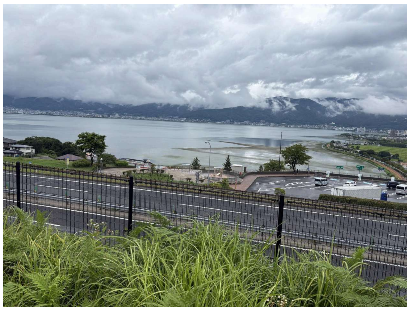


しばらくするとバスは高速道路に入り、中央道を駆け抜けます。

1時間ほどして、１回目の休憩。場所は、山梨県上野原市の談合坂サービスエリア。とても大きなサービスエリアで、朝早くだというのに多くの車が停まっていました。僕たちはそこでパンなどを購入しました。

そして、さらに1時間くらいたった後、２回目の休憩。場所は長野県諏訪市の諏訪湖サービスエリア。

このサービスエリアは、諏訪湖からほど近い場所に所在しており、目の前に広がる諏訪湖を一望することができます。昨年の夏登山の際にも、このサービスエリアを訪れたのですが、その時は夜行バスだったため湖を見ることができませんでした。だいぶ雲がかかっていたのは残念でしたが、諏訪湖、湖畔に広がる諏訪市街地、そして霧ヶ峰が組み合わさった風景はとても素敵でした。



NEXCO
諏訪湖
SUWAKO

それからしばらくバスの中で時間が過ぎ、松本インターチェンジで高速を降ります。

そこから1時間くらいでしょうか。ついに上高地に到着です。雨が降ってしまいましたが、観光地ということもあり、外国の方を含め多くの人で賑わっていました。ちなみに、上高地周辺は、通年マイカー規制を行っているため、近くの駐車場からバスを使ってアクセスしなければなりません。もし上高地に行くことがあったら覚えておいてくださいね。ご飯を食べて、ついに3190mに向けての登山が始まります。

Chapter８．北アルプスの盟主

本Chapterでの移動は全て**徒歩**です。鉄路なのに公共交通機関を使用しないのはまた新鮮だと思いませんか？

ちなみに、本Chapterで扱っている３日間での徒歩距離は約36km、山手線一周よりも長いんです！（標高差は2200mも）

そんな過酷な、もはや鉄道研究部というより山岳部の部誌だろ！！と思えるような内容の記録をお楽しみください！

〔Part１（明神・徳沢）〕

上高地バスターミナルへの到着後、多くの人が集まる観光地である河童橋をテント付きのメインザック（重量25kg）を背負って渡ります。この橋の下を流れるのは梓川。少しでも鉄道要素を入れようということですが、この川の名前が、中央線特急「あずさ」の名称の由来だったりするらしいですよ。

上高地から歩き続けること約１時間。明神に到着しました。この場所には、穂高神社奥宮が鎮座しています。明神からも多少傾斜のある道を歩き続け、徳沢に到着です。徳沢にはある名物が！！　それは**ソフトクリーム**です！

去年も食べたのですが、ここのソフトクリームはとっても美味しいです！！是非行ってみてくださいね！

（Part１完）【写真紹介】穂高神社奥宮

〔Part２（横尾）〕

徳沢から１時間半、梓川の川沿いをひたすら歩き、到着したのは横尾山荘。今夜はここでキャンプをします。みんなで調理したのはカレーライスです。力を合わせ美味しく仕上げることが出来ました。この日は早めに就寝して、翌日は登頂に向けて２時起床、４時に出発です！（Part２完）

【写真紹介】カレーを食べる山岳部員と顧問の先生

〔Part３（涸沢の地へ再び）〕

おはようございます。ということで４時から歩行を開始し、奥穂高岳登頂のベースキャンプ「涸沢カール」を目指して進みます。途中の本谷橋までは比較的平坦な土地が続きました。本谷橋から先の区間は、メインザックで急な傾斜を登らなくてはならない地獄の道なのです。地獄の道を進むこと約３時間。とうとう大きめの建物が見えてきました。

涸沢への到着です。（ここまでとても長かった…）

涸沢から見える山々はいつも美しい。

ベースキャンプに着いたし、ちょっと休憩…

なんて言っている暇はありません。テントの設営終了後には、

すぐに山頂に向けて出発しますよ！！

（Part３完）　【写真紹介】涸沢から見えた景色

〔Part４（穂高の盟主への挑戦）〕

涸沢を出発した私たちは、少しずつ山頂に向けて登っていき、死傷者多発の難所「ザイテングラード」を何とか超えてようやくのことで奥穂高岳手前の最後の山荘、「穂高岳山荘」に到着しました。ここではお茶漬けを食べました！！

標高2,983mで食べるお茶漬けは最高ですね。冷えた身体が温まります。

ここでお茶漬けパワーで復活し、最後の登りに入っていきます。

ここの登りは、今回の登山中で過去一で急なのではないかと思うくらい、傾斜が酷く、ほぼ脚立を登っているような感じでした。

そんな中でも、一歩一歩着実に山頂に近づいていき、出発から９時間半後ようやくのことで穂高神社嶺宮、奥穂高岳山頂（3,190m／日本第３位）に登頂しました！（日本２位の北岳との標高差は３m。ほぼ僅差ですねっ）

奥穂高岳
標高 3,190m

（Part４完）　【写真紹介】奥穂高岳山頂

〔Part５（涸沢探訪）〕

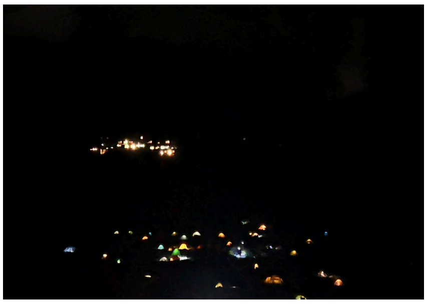
山頂から涸沢までの景色もずっと美しく、あっという間に下山できました。そして涸沢での自由時間になりました。

まず何をしたかというともちろん食事ですね！！　実は涸沢には山小屋として食堂売店があるのです。私はらーめんを食べました。山の上とか旅先で食べれば、だいたいなんでも美味しいです。

また、この日の夜ごはんは全員でパスタを作って食べました。坂本先生の「料理は段取りですからね」という言葉から段取りを重要視しながら、パスタ麺をゆで続けました。そこそこ美味しかったです。

そして少しテントで休憩したら日が沈み、暗黒の世界になっていました。この中で光り輝くものがありますよね。

ヘッドライト… まあそれもそうですが、涸沢と言えば… そうです、テントが織りなす夜景ですね。私たちはこれを「涸沢の九份」といってわちゃわちゃしていましたが、修学旅行にて実際の九份を見て、そのすごさに圧倒されました。このテントが織りなす夜景は、一生に一度は見るべき景色だと思っています！！皆さんもぜひぜひ、片道18kmの徒歩を経て、行ってみてはいかがでしょうか。（Part５完）



【写真紹介】涸沢の夜景

〔Part６（疲れも限界に達する帰路）〕

復路ではほぼ往路と同じ道で上高地まで帰りました。途中の本谷橋での朝日や、美しい梓川はとても思い出深い思い出の１ページです。そして、上高地到着後にみんなで行った上高地アルペンホテルの温泉は勿論、最高でしたよ！！　（Part６完）

【写真紹介】（左）本谷橋の朝日　（右）梓川

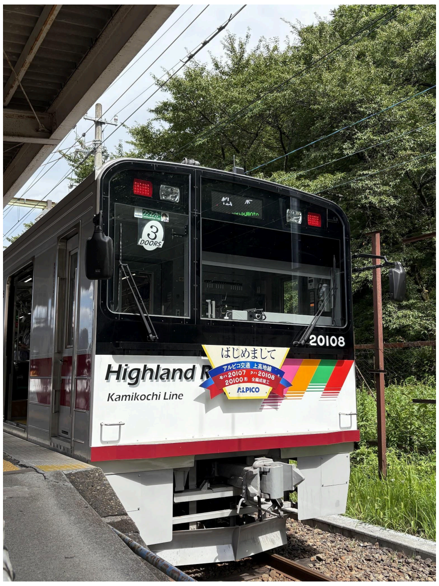
（Chapter８完）

Chapter9.紡いだ記憶は名古屋と雨と

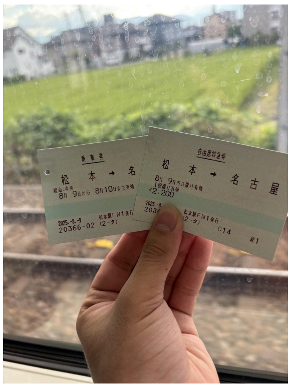
山の興奮も冷めやらぬまま、上高地からバスに乗って新島々駅に向かいました。
時刻は14時。入線してきたのは、20100系。元々東武20000系として活躍していた車両のようです。
アルピコ交通上高地線に揺られること30分、松本駅に到着です。

新島々バスターミナル

AK 01
松 本
Matsumoto
アルピコ交通上高地線
Kamikochi Line
西 松 本 →
Nishi-Matsumoto


20108
Highland
Kamikochi Line
はじめまして
ALPICO

ここまで３日間苦楽を共にしてきた山岳部の仲間とはここでお別れです。特急あずさに乗る仲間と先生たちを見送ります。
メインザックをゆうパックで自宅に発送するという裏技を使い、身軽になった僕たち。目指すは名古屋です。
旅を始める前に、マクドナルドでバーガーを食べていたら、乗ろうとしていた普通電車に間に合いませんでした。計画性のなさ…まあ久しぶりの地上のご飯はとても美味だったのでOKです。



特急
しなの
Shinano
名古屋
Nagoya

結局その代わりとして、16時54分発、特急しなの20号、名古屋行きに乗ることになりました。
松本おばさんの「まーつーもーとー」の声を聴きます。残念なことにこの音声は、旅の３か月後、2025年11月16日に聴けなくなってしまいました。
今思うと最後に聴けてよかったと思います。
電車に乗り込み、運良く空いていた前面展望が眺められる席を確保。
アイスコーヒーとそば茶で仲良く乾杯です。
途中停車駅は塩尻、木曽福島、南木曽、中津川、多治見、千種。カーブの多い区間もすいすいと駆け抜け、２時間程度で名古屋に着いてしまいました。

JR東海
なごや
名古屋
Nagoya
名
CF 00
CJ 00
かなやま Kanayama（名古屋市中村区）
はった Hatta

H 08
名古屋
Nagoya
亀島 Kamejima
伏見 Fushimi

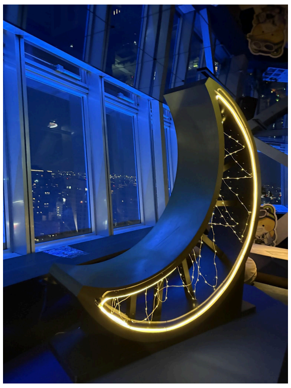
名古屋を訪れたら食べたいものといえば、もちろん味噌カツ！ということで名古屋で有名なとんかつ屋、「矢場とん」の矢場町本店に行くことにしました。名古屋市営地下鉄の24時間券を購入し、名古屋駅から栄駅まで東山線、栄駅から矢場町駅まで名城線を使います。そして、本店に到着です。約20分待ち、席に着きます。朝５時から居眠りもせずここまで来たので二人とも疲れ気味ですが、お目当ての味噌カツを注文。

でらうみゃ〜（名古屋弁でめっちゃ旨いという意味）！！！

どうして味噌ととんかつがこんなに調和するのでしょうか。食べに来れてよかったです。

そして、名古屋の夜景を見るために、近くの「中部電力MIRAIタワー」に上ります。

昨日3190mにいた人たちが、たったの100ｍしかない展望台に金を払うという行為のあまりにも意味の分からなさにエレベーターの中でずっと笑い合っていました。しかもこのエレベーター、ドアの開け閉めが手動だという、全国で唯一のものだったようで、面白かったです。どうやらタワーの頂上は恋人の聖地に認定されているようで、国内外のカップルさんたちがたくさんいました。灯りがきらめく名古屋市街地を一望することができ、それはそれはいいところでした。ちょうどイベント中だったので、建物内では、名古屋の空で海の生き物が泳いでいるように見せるプロジェクションマッピングも行われていて、夢のような、とてもいい雰囲気でした。



MIRAIタワーを後にした僕たちは、宿泊場所へと歩みを進めます。

栄駅から金山駅まで地下鉄名城線に乗り、この日は市営地下鉄との別れを済ませます。

さて、今晩僕たちが泊まるのは、三河安城駅近くの「東横イン」。

本当は名古屋近辺で泊まりたかったのですが、気づいたらここしか空いてませんでした。

三河安城駅は新幹線が止まるため大きな駅だと思う方も多いと思いますが、実際にはコンビニとホテルがあるだけのただの駅。しかも在来線は各駅停車しか止まってくれません。

新幹線との接続駅なのに不便すぎるなんて、怒っちゃうぞ（笑）！

そんな冗談はさておき、なんとか宿に到着。部屋のベッドはダブルベッドでした（笑）。まあ全然平気なんですけどね。なぜなら、山ではもっと狭いところで寝ているからです。安かったんで、結果よし。本当に長い一日でした。

新幹線三河安城駅・駅前広場
SHINKANSEN MIKAWA-ANJŌ STATION
STATION SQUARE

8/10（日）

おはようございます。いよいよこの12日間の旅の最終日です。

7時30分から活動開始です。三河安城から再び名古屋に戻ります。この日のお目当ては「熱田神宮」と「名古屋城」。

熱田神宮は三種の神器の一つである「草薙神剣」を祀る、1900年以上の歴史のある神社です。朝の熱田神宮はとても閑静で、神秘的な場所でした。参拝し終わったと同時に、雨が降ってきてしまいました。急いで地下鉄の駅に戻ります。

次の目的地は、名城線に乗って名古屋城に向かいます。そう、今年の歩く会ゲートのモチーフにもなった、鯱が乗っているあのお城です。

地下鉄名古屋城駅の出入り口も名古屋城をモチーフにした形でした。

天守閣は工事中だったので入れなかったですが、雨の中でも城のどっしりと構えた様子、本丸御殿の内装がとても迫力があり、いい思い出となりました。

ちなみに、入ったお土産屋さんの冷房は、16℃設定暴風でした。人間にエコな生活ができて素晴らしいですね。

そのあと名古屋駅でお土産等の買い物を済ませ、東海道本線を駆け抜ける旅が始まります。

11時46分、名古屋発の5324F新快速に乗車です。速さと転換クロスシートの座り心地が素晴らしすぎます。

12時39分に豊橋に到着し、5分後に発車する964M普通浜松行に乗車です。

お昼に予定していたのは、知らない人はいないと言っても過言ではない、静岡県のチェーン店「さわやか」。事前に通る駅から近い店をいくつかピックアップして待ち時間を見ていたのですが、どこも100分以上待ち。

流石に待っていたら当日中に茨城に帰ることができなくなりそうだったので、泣く泣く断念。

３連休の中日の昼間という一番混むであろうタイミング、さわやかの人気をちょっとなめていたかもしれません。

浜松駅からは、JR東海が誇る新形式、315系に乗車して静岡駅まで向かいます。

315系はこれまでの系列とは異なり、ロングシートです。長時間旅をしている僕たちからすると、ここにきてのロングは大分堪えるものがありますが、それも運命ですね。

海鮮を食べよう、ということになり、静岡駅ビル内に入っていた海鮮屋で、海鮮丼を食べました。漁港である焼津・清水が近いこともあり、ネタは新鮮で美味しかったです。

その後、時間が余っていたので静岡県庁の展望台（高さ110m）に向かいました。しかし、雨だったということでお客さんはまさかの自分たちだけ！遠くのほうの景色はかすんでいましたが、静岡の展望を独占できたのはラッキーでした。

そして、16時43分発、熱海行きの313系電車に乗車。あとはひたすら東海道本線に乗るだけ...だと思っていました。

普通
東田子の浦
Higashi-Tagonoura

しかし、いつになっても電車は静岡駅を発車しません。おかしいなと思ったところに、車掌からのアナウンスが。

「東海道本線は、雨規制のため三島から原まで運転を見合わせております。運転再開時刻は未定です」

思わず立ち上がってしまいました。

運休で始まった僕たちの旅が、まさか最後の日まで足を止められるとは...？

とりあえず電車が動く富士川駅まで進むことができました。そこでなんと、乗っていた電車がいきなり東田子の浦行きになったのです。途中で運転打ち切りです。

途中の富士駅で降りて、後続の熱海行きを待ちます。

このまま電車が動かなかったらもう一晩泊まろうか、とも考えていたのですが、幸いなことに雨規制は無事解除され、予定より約３時間の遅れで富士駅を出発することができました。とてもほっとしました。

というか、３時間も待たされるなら「さわやか」でご飯を食べられたのではと思ってしまいました。まあこれも思い出話になるからいいか。

20時過ぎ、ようやく熱海駅。久しぶりにJR東日本管内の駅に来たので、実家に帰ってきたような安心感が生じます。まだここから土浦駅までは170km以上あるんですけどね。

熱海からの東海道本線、そして常磐線はずっと寝ていたので記憶がありません。

そして、23時23分、無事に土浦駅にたどり着き、僕たちの濃厚な12日間の旅は幕を閉じたのでした。

Chapter10．終章

〔解説〕

ここまで読んでくれたみんな～！！　こ～んに～ちは～！！

僕の名前は、ゆめれいる！茨城県土浦第一高等学校鉄道研究部の公式マスコットキャラクターだゆめ～！

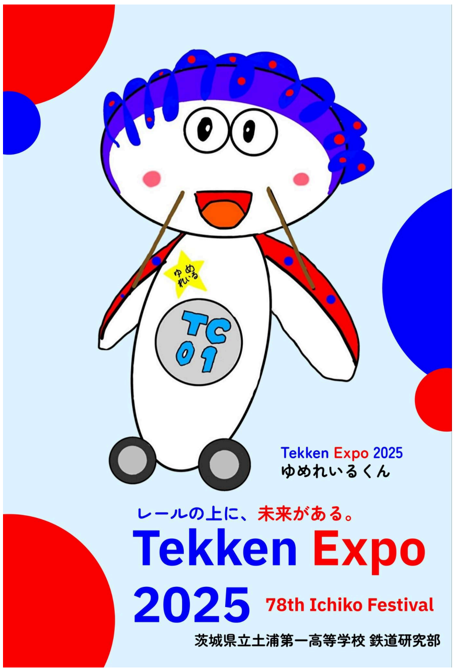
この12日間の旅行記を読んで、みんなはどんなことを感じたゆめ～？　僕だったら、そんな過酷なこと、しないゆめ～！

でも、僕は知ってるゆめよ～。こういう経験のひとつひとつが、きっといつまでも心に残る思い出になるってことを！

みんなも、旅をすることをおすすめするゆめ～。

最後に、この記事を読んでくれたすべての皆さま、本当にありがとうございましたゆめ～！

ゆめれいる


ゆめれいる
TC 01
Tekken Expo 2025
ゆめれいるくん
レールの上に、未来がある。
Tekken Expo
2025
78th Ichiko Festival
茨城県立土浦第一高等学校 鉄道研究部

ゆめれいる（夢線路）

2025年茨城県土浦市生まれ。土浦一高鉄道研究部在籍。2025年5月、第78回一高祭の鉄道研究部の企画である、『Tekken Expo 2025』のマスコットキャラクターを務める。専門はゆめゆめ思想。2025年に自身初となる『鉄道研究部キャラクターアワード2025』で最優秀賞を受賞。自由奔放で、人を巻き込む語り口は、『鉄道模型コンテスト2025』においても、非常に注目を集めた。

自身の１ｓｔポストカードは発売から約２カ月で完売するほどの人気を誇る。

今後は、鉄道研究部のみでなく、土浦一高全体のマスコットキャラクターとして活躍の幅を広げる予定。

タイトル　**ゆめを抱き進め！れいるの行き先へ**
2025年11月22日　第１部発行
著　　者　小藥遼輔（２年Ｄ組）
　　　　　中根琉成（２年Ｅ組）

協　　力　土浦一高山岳部
　　　　　ラムネちゃん

発　　行　茨城県立土浦第一高等学校　鉄道研究部

特別協力　福島県双葉郡楢葉町
　　　　　一般社団法人 鉄道模型コンテスト事務局